



新学期が始まり子どもたちの元気な声が校舎に響き渡っていることと思います。2学期も実り多い学期となるよう学校問題サポートチーム一同応援しています。

さて、今月は学級経営や学校経営の手法としてポジティブ行動支援について取り上げます。

ポジティブな行動支援とは

- ・ポジティブ行動支援（Positive Behavior Support, PBS）とは、児童生徒の望ましい行動を育てる支援方法です。
- ・問題行動が起きないようにする、予防的アプローチを取り入れた先取りの指導です。
- ・全ての子どもたちに、学校全体で適切な指導環境を整える支援方法です。

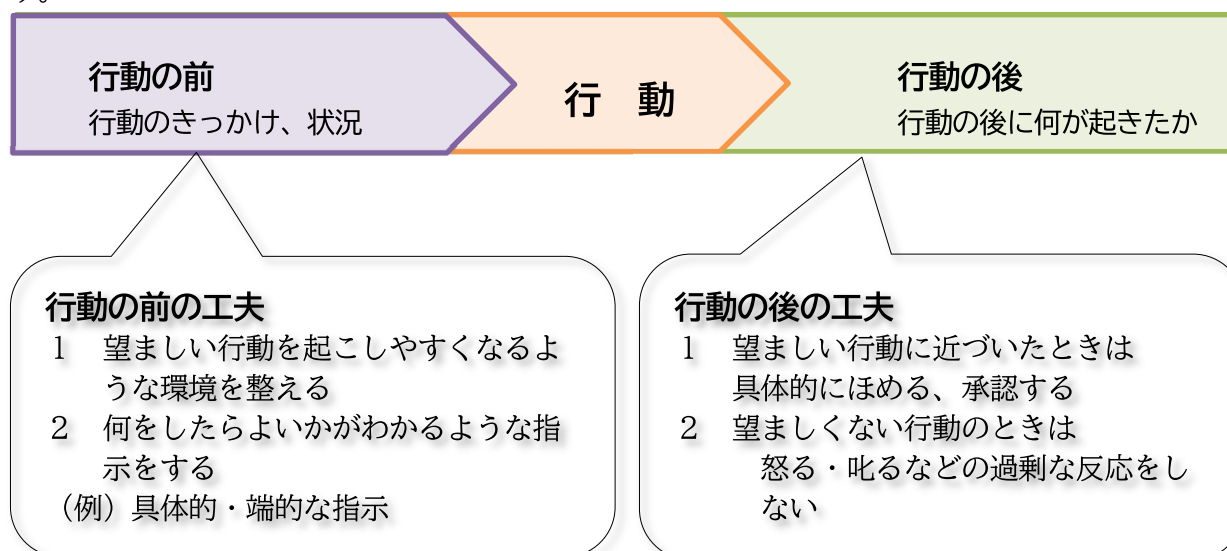
ポジティブ行動支援の考え方

- ・何か問題が起きた後に支援するのではなく、予防的な支援であること。
- ・できていないことに着目するのではなく、できていることに着目すること。
- ・望ましくない行動を「罰則や叱責」で減らすのではなく、望ましい行動を「称賛や承認」で増やし、結果的に望ましくない行動を減らすこと。



望ましい行動を増やすための原理

ポジティブな行動支援では、下の図のように気になる行動を3つの場面に分け、その行動の前後にはたらきかけ、望ましい行動を増やします。この原理は応用行動分析学に基づいています。



ポジティブ行動支援の手順

1 行動目標の設定

まず、学級や学校全体で達成したい具体的な行動目標を設定します。学校における望ましい姿・行動とは何か？について児童・生徒の意見をもとに、教職員で話し合っ

指導場面		具体的な目標	
教室	きまりを守ろう	友達を大切にしよう	言葉を大切に
	・チャイム着席しよう	・話をしている人のほうを見よう	・指名されたら「はい」と返事をしよう
体育館	・はやく集合・整列しよう	・友達と協力して活動しよう	・友達を応援しよう

2 共有し、実行する

全校朝会等で行動目標を呼びかけ周知する。教室や校舎内に行動目標を掲示し、常に目に入るようにする。人権集会で「あったか言葉」を取り上げる。放送委員会で、素晴らしかった「あったか言葉」を放送する。このような実践により、児童・生徒たちは「学校での望ましい姿」を確認し、意識しやすくなります。各学級でも担任による指導を行い、全児童生徒、教職員による取組がスタートします。



3 ポジティブなフィードバック

生徒が設定した行動目標を達成したときに、具体的に褒めます。例えば、全校集会で定期的に評価します。また、分かりやすいグラフやシールを使って、できたことが確認できるように工夫します。

4 定期的な振り返り

定期的に目標達成度を振り返り、改善点を話し合います。これにより、継続的な改善が図れます。

例

学校全体あいさつ率



5 学級と学校全体の取り組みの相乗効果

学級全体でポジティブな行動を増やすための取り組みを行います。例えば、ポジティブな行動を取った生徒に「ポジティブカード」を渡し、お互いに認め合う文化を育てます。これらの手続きを通じて、学級全体でポジティブな行動を促進し、問題行動を減少させることができます。このような学級の取り組みが校内の児童・生徒、教職員に共通理解され学校全体に広がっていくことをねらいます。

参考資料

解説

- ・若林 上総 他 (2023)『学校全体で取り組むポジティブ行動支援スタートガイド』
- ・松山 康成 (2023)『はじめてのポジティブ行動支援』 明治図書出版
- ・日本ポジティブ行動支援ネットワーク ホームページ

実践事例

- ・岩島 陽 (2023)「ポジティブ行動支援 (PBS) とピア・サポートを活用した児童主体の問題解決の実践」『兵庫教育』4月号
- ・松山 康成 (2023)「ポジティブ行動支援とは」『月刊学校教育相談』4月号
- ・徳島県立総合教育センター『学校全体で取り組むポジティブな行動支援』